



ロータリーは機会の扉を開く

喜多方ロータリークラブ第35回（通算3238回）例会

日時：令和3年3月30日（火）12：30
場所：商工会議所 大ホール
お食事：ぬりの里 ハンバーグオムライス弁当
会場監督：佐藤 日出夫

- ◎開会点鐘 佐藤 正道会長
- ◎ロータリーソング ☆第5週 日も風も星も
- ◎四つのテストの唱和
- ◎お客様紹介 伊藤 二郎副会長 本日はいらっしやいません
- ◎お食事をどうぞ
- ◎会長挨拶 佐藤 正道会長
- ◎幹事報告（来信・お知らせ）瀬野 勝治幹事
 - ・ガバナー事務所より、地区大会 YouTube 配信のご案内
ロータリー文庫開館時間のご案内
東京 RC 創立 100 周年記念例会・祝賀会ダイジェスト映像のご案内
地区大会プログラム・特別研修セミナープログラム 接手
 - ・RI 日本事務局より、ザ・ロータリアン誌 接手
 - ・会津若松 RC より、4 月例会プログラム 接手
 - ・米山記念奨学会より、奨学生の世話依頼についてのご案内 接手
 - ・米山梅吉記念館より、館報 接手

◎米山奨学生 世話クラブ・カウンセラー委嘱状 伝達

- ◆世話クラブ・・・喜多方ロータリークラブ
- ◆カウンセラー・・・渡邊 仁 会員



◎PETS（会長エレクト研修セミナー）報告

庄司 英喜 会長エレクト



- ◎委員会報告
- ◎ニコニコBOX
- ◎出席報告
- ◎閉会点鐘





【佐藤正道会長挨拶】今日は、2週間以内喜多方市内に感染者が発生していないために、食事の時間が設けられます。是非食事の時間を楽しんでください。

先週、オリンピックの聖火が喜多方市を駆け抜けました。私の愚息も聖火ランナーを務め、市内の最終区間を走りました。最終地点となった喜多方プラザではミニセレブレーションも行われ、大勢の観客が押し寄せました。当初会場内には、許可証を持った人だけしか入場できないはずだったにもかかわらず、入場フリーの状態になり、密な状況になっていました。オリンピック組織委員会は、過度な密集が発生した場合は走行取りやめも検討するとしていましたが、入場を制限するような注意喚起もなく、閉会セレモニーも行われました。この状況は、喜多方市ばかりでなく各地でも同様で、配信された映像から聖火リレーのコロナ感染対策に疑問が投げかけられています。

オリンピックが一年延期され、検討期間が十分にあったにもかかわらず、対策が講じられなかったのは、残念なことです。

この映像は全世界に配信されており、日本のコロナに対する意識の低さ、危機管理能力の低さが露呈されてしまいました。

ちょうど一年前、当地区には、3名の青少年交換留学生が来日していましたが、コロナウイルスの蔓延により、3月中に全員の帰国が決定されました。

3月9日に日本青少年交換多地区合同機構（RIJYEM）地区危機管理支援委員会より、来日学生全員を早急に彼らの母国に帰国させることを基本方針とする COVID-19 対応指針その2が通達され、さらに3月11日には WHO がパンデミック宣言をしました。

それを受けて芳賀ガバナーは危機管理委員会メンバーからの意見収集を行い、3月12日に帰国決定がなされました。私も地区の青少年交換委員長であり危機管理委員だったため、コロナウイルスのワクチンや効果的な治療薬が開発されていないこと、ホストファミリーに負担をかけること、命の保証ができないことを理由に早期帰国を提案させていただきました。その当時、感染者数は全国でわずか56名でした。

この判断に、派遣地区や保護者が異論を唱え、ある保護者は RI に提訴するとまで言う始末で、説得に苦労はしましたが、何とか全員の留学生を帰国させることができました。当然当地区からの派遣学生も帰国させました。

その後感染が拡大し、緊急事態宣言が4月7日7都府県に、4月16日に全国へ発出されました。

今ほどコロナウイルスの情報が解明されていない中での留学生の早期帰国は、勇気のいる決断でしたが、日本のロータリーは、危機管理の体制を整えていたからこそ、なし得た対応だったと思います。他国においては、そのまま留学生を滞在させたために、航空機の欠航により、その後留学期間が終了しても、帰国できない状況に陥ったケースも多々ありました。

2004年の大阪国際大会において、オーストラリアの元青少年交換学生の2人におきた性的虐待について議論されました。そして RI 理事会において、青少年の保護と青少年と接する際の行動規範が決議され、その後2005年 RI の通達により、青少年交換プログラムに参加する地区は法人化、賠償責任保険加入、危機管理委員会設置の3条件を満たさなければならないことになりました。さらに2011年におきた東日本大震災の教訓から、災害対策についても危機管理に盛り込むよう要請がなされました。

ロータリーは、過去の経験に学び、危機管理意識を高めてきました。そのプログラムは素晴らしいものです。後日皆さんにもその内容をご紹介しますと思います。

オリンピックは、自国の開催頻度が少ないために、過去の経験から学ぶことができないのでしょうか。今回の反省が生かされることはあるのでしょうか。

無防備な国の行く末が案じられます。